



農委だより 常総

令和5年1月1日発行
第 34 号

〒303-8501
茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3
電話0297-23-2111 (代表)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会



謹賀新年

2023年
卯年

私たちが
見守っています!

石下小学校飼育係の皆さん

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より常総市農業委員会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年はロシアがウクライナへの軍事侵攻を始めるなど世界情勢が大きく動き、それに伴う資材価格の高騰や円安に悩まされた年となりました。令和5年となる今年は春に「道の駅常総」の開業が予定されています。この道の駅は常総ICと国道294号線に隣接しており、市内外からの集客が見込まれます。これを常総市の農産物をアピールするチャンスととらえ、市の農業の活性化へと繋がっていくことを期待しており、常総市農業委員会としても積極的に協力してまいります。結びに、皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



農業委員会 会長
増田 亮

本年もよろしく願いいたします。

上段 農業委員(議席順)
下段 農地利用最適化推進委員(地区順)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 増田 亮 | 内海 浩之 | 荒木 正治 | 鈴木 将之 | 下村 利治 | 稲葉 知信 | 倉持 孝男 | 古谷 克美 | 中島 清 | 倉持 治 | 折原 一己 | 石塚 勝 | 塚田 忠男 | 野口 孝夫 | 染谷 幸子 | 渡辺 宏行 | 飯村 二男 | 永瀬 仁一 | 高橋 敏明 |
| | | 秋葉 雅男(飯沼二地区) | 青木 剛(飯沼一地区) | 石嶋 照夫(岡田地区) | 倉田 光雄(玉地区) | 倉持 信雄(豊田地区) | 吉田 博(石下地区) | 糸賀 達(大塚戸地区) | 佐藤 宏弥(菅生地区) | 染谷 清(内守谷地区) | 野口 永(坂手地区) | 古井 猛(大花羽地区) | 渡邊 正己(菅原地区) | 古谷 保(豊岡地区) | 小林 仁一(三妻地区) | 慶野 正一(五箇地区) | 大島 定男(大生地区) | 田中 三男(水海道地区) |

飯沼一地区 (鴻野山・鴻野山新田・古間木新田・古間木沼新田・古間木・馬場新田・大沢・大沢新田)
飯沼二地区 (馬場・栗山新田・左平田新田・孫兵工新田・崎房)

三妻地区

柳田 浩一さん



私の家は、現在、トマトとイチゴの施設園芸を中心に農業を営んでいます。

30歳のときに就農し、あと2年で農業を始めて20年になります。

トマトは、父親の代から市内で直売所を出店するようになってから40年以上になります。長年のお客様や地域の方々に助けられ、なんとか続けられています。

イチゴも、とちおとめ、いばらキッス、やよい姫の3品種を栽培しています。少しずつですがホテ

ルやイベント、キャンペーンにも協力させていただけるようになりました。

これからも、お客様の声に耳を傾けながら、喜ばれる野菜づくりをしていきたいと思えます。

紹介委員

田中 三男 委員



柳田さんは、代々ハウス栽培を営んでおり、規模拡大しながら露地栽培にも取り組んでいます。一部直売方式を取り入れ、包装資材も、PRを入れ工夫しています。



養生地区

田島 利江さん



我が家では、ブドウとブルーベリーを栽培しています。長女も加わり三人で作業をしています。

色々な味や形を楽しめる様に赤系、白系、黒系のブドウを育てています。ブドウは年間を通して細かい作業が続きます。特に開花してから袋掛けまではとても忙しくなります。最近ではAIを取り入れた房作りなども研究されていますが、なかなか技術を習得するのが難しい現状です。ブルーベリーも、冬場の剪定や害虫駆除など家族全員で行いますが、春には白い花が一面に咲き、とてもきれいで

す。種類により味も様々で食べ比べるのも楽しみです。また、春に行うハウスのビニール張りなどは、若い人達の手助けで行っています。孫達も手伝ってくれます。重労働ですが、皆さんに「おいしいネ！」と言って頂けるのが一番の力になります。ブドウは、毎年新しい品種が作られています。肥料の活用法なども勉強しながら、色々な種類を作っていきたいと考えています。

紹介委員

糸賀 達 委員



田島ブドウ園は、元々お義父さんが梨を栽培していました。利江さんが嫁いで来てから旦那さんと二人でお義父さんの後を継ぎ、梨棚を利用してブドウ栽培に転換しました。以来40年、研鑽を積み重ね、今では40アールの圃場に15種類のブドウを栽培しています。

今後は、娘さんが担い手となっていくことを期待してのことです。

常総市農業委員・農地利用最適化推進委員の推薦・募集について

農業委員の任命については、法律により事前に候補者の推薦・募集を行い、それを基に市長が選定し、議会の同意を得て任命することになっています。

また、農地利用最適化推進委員も同様の推薦・募集を行い、定められた区域ごとに農業委員会が任命することになっています。

現在の農業委員・農地利用最適化推進委員の任期が令和5年7月30日で満了となるため、次期委員の公募は次のとおり行う予定です。

募集期間 令和5年2月13日(月)～令和5年3月17日(金)

募集人員 農業委員 19人

農地利用最適化推進委員 17人(各区域) *担当区域は下記のとおり

任期 令和5年7月31日～令和8年7月30日

応募方法 応募届出書または推薦書を農業委員会事務局まで提出してください。

上記の用紙及び応募要項は、農業委員会事務局で配布するほか、市のホームページからダウンロードできます。詳しくは、後日掲示される募集要項をご覧ください。

主な業務

農業委員

毎月実施される農地調査会(地区ごと)及び総会に出席
農地法に係る農地の権利移動、農地転用等の許可、違反転用への対応
農地利用最適化の推進に関する施策の意見決定等

推進委員

毎月実施される農地調査会(地区ごと)に出席
農地利用集積・集約化の推進、農地の出し手及び受け手へのアプローチ
農地パトロールによる遊休農地の発生防止及び農地利用状況調査
担当地区内における現場活動、集会への参加や戸別訪問等

問合せ先

農業委員会事務局 ☎0297-23-9013(直通)

農地利用最適化推進委員担当区域

区名	区域
第1区	水海道高野町、水海道天満町、水海道亀岡町、水海道本町、水海道元町、水海道栄町、水海道宝町、水海道誠訪町、水海道橋本町、水海道森下町、水海道淵頭町、水海道山田町及び水海道川又町
第2区	小山戸町、相野谷町、中山町、平町、十花町、東町、大崎町、箕輪町、兵町、長助町及び新井木町
第3区	沖新田町、三坂新田町、福二町、上蛇町及び川崎町
第4区	中妻町及び三坂町
第5区	豊岡町
第6区	笹塚新田町、横曾根新田町、五郎兵衛新田町、伊左衛門新田町、大生郷新田町及び大生郷町
第7区	羽生町、大輪町及び花島町
第8区	坂手町
第9区	内守谷町
第10区	菅生町
第11区	大塚戸町
第12区	本石下、新石下、大房、東野原、山口、平内及び収納谷
第13区	館方、豊田、本豊田及び曲田
第14区	原宿、小保川及び若宮戸
第15区	向石下、篠山、蔵持、蔵持新田、杉山、国生、岡田及び中沼
第16区	鴻野山、鴻野山新田、古間木新田、古間木沼新田、古間木、馬場新田、大沢及び大沢新田
第17区	馬場、栗山新田、左平太新田、孫兵三新田及び崎房

令和3年 主要業務実績

農地移動の実態

条	項	別	件数	面積 (㎡)	条	項	別	件数	面積 (㎡)	
3条		所有権移転	94	238,637	4・5条制限除外			17	20,917	
		賃貸借	4	11,738				大臣許可	—	—
		使用貸借	6	27,035				18条解約	289	892,470
		届出	99	876,557				証明	非農地証明	4
4条	許可	29	24,614	転用事実証明	1	524				
	届出	5	1,248	現況証明	1	191				
5条		許可	124	172,202	農業経営基盤強化			512	1,798,856	
		届出	19	5,808				(令和3年1月～12月)		



農地パトロール (農地利用状況調査)を実施

常総市農業委員会では、令和4年7月8月にかけて市内全域の農地を対象に農地パトロールを行いました。

農地パトロールは主に農地利用の確認、遊休農地の実態把握と発生防止・解消、違反転用発生防止・早期発見を目的といたします。

遊休農地は雑草の繁茂、不法投棄や火災の要因となりますので、農地の適正な管理をお願いします。

農地の維持管理が困難になった方は、農業委員及び農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局までご相談ください。

豊かで安心な老後を過ごすため 農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は積立方式ですので少子高齢化の進むこれからの時代でも安心。

大きな節税効果も期待できます。

毎月支払う年金は月額2万円(35歳までは1万円)から始められます。

ご夫婦での加入も可能です。

☆詳細は最寄りの
農業委員、推進委員、
農業委員会まで



営農と暮らしに役立つ

全国農業新聞

発行日 毎週金曜日
購読料 一ヶ月、七百元
発行所 全国農業会議所
申込み 農業委員会事務局まで
TEL 0297(23)9013



編集後記

本年もよろしくお願いたしました。
農委だより常総34号をお届けします。

皆様のお役に立てるような広報を編集委員一同目指しておりますので、誌面で取り扱ってほしい記事がありましたら、ぜひご相談ください。